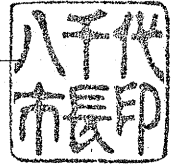


建設 第 643号

平成25年11月26日

千葉県千葉土木事務所
所長 高澤 秀昭 様

八千代市長 秋葉 就



印旛放水路（花見川）の早期改修に関する要望書

日頃より、本市の公共下水道事業につきましてご理解ご協力いただいておりますことに感謝申し上げます。

さて、10月15日から16日にかけての台風26号により、本市の公共下水道である八千代1号幹線沿いに位置します、八千代市八千代台西・八千代台北・八千代台東・大和田地区におきまして約290戸（このうち床上浸水約150戸）の浸水被害が生じました。

八千代1号幹線は、流域内の雨水排除を目的に昭和40年度から、都市下水路として千葉市・船橋市・習志野市・八千代市の共同事業として整備に着手しその後、都市化の進展に伴い浸水被害対策として何度か整備手法の見直しを行い、昭和58年度から平成13年度に時間当たり降雨強度を50mmに修正し公共下水道事業として整備を図ってまいりました。

さらに、都市化が進展し続けている状況から平成10年度に高津東地区の公園の地下に貯留槽（3,700m³）を設置し、平成11年度には防衛省所管の国有財産（土地）を借用いたし調整池（6,400m³）を設置すること等により浸水被害防止に努めてまいりました。

しかしながら、今回の台風26号では当幹線の計画時間雨量50mmを超え、最大時間雨量58.5mm、総雨量306mmにより家屋や車両等に甚大な浸水被害が生じました。

本市としては今回の浸水被害の要因を検証するとともに既存調整池の拡大、貯留施設の設置等と豪雨を想定した防災対策の強化を図ってまいりますが、今後も今回のような降雨や近年の集中豪雨による浸水被害が十分に想定されますことから、八千代1号幹線の放流先である印旛放水路（花見川）の河道拡幅の早期改修を要望するものであります。